

# "Road to 8hours" 300km SUZUKA

## “Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレース

2007 予選 決勝  
6/9 SAT. • 10 SUN.

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース  
1周 5.821km

- 同日開催：鈴鹿サンデーロードレース第3戦 鈴鹿ST600
- 主催：株式会社 モビリティランド
- 公認：国際モーターサイクリズム連盟(FIM) / 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)

### それは“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐を戦うための要素が詰められた8耐前哨戦だ!!

2004年に第1回大会が開催された“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレース。今年で4回目の開催と歴史は浅いが、その前身は全日本ロードレース選手権シリーズの一戦であった鈴鹿200kmだ。

この鈴鹿200kmは、その走行距離から、スプリントレースでありながらレース途中に燃料補給やタイヤ交換などのピット作業が必要となっていた。それゆえに鈴鹿8耐の前哨戦と呼ばれていたのだが、より以上に鈴鹿8耐前哨戦としての価値を高めようと誕生したのが、この“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレースであり、全日本ロードレース選手権では実現できない様々な要素がこめられているレースだ。

今年は、“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐にスポット参戦

するチームは、マシンレギュレーションがJSB1000に一本化された。これを受けて、この鈴鹿300km耐久ロードレースでも、全日本ロードレースの最高峰クラスに位置づけられるJSB1000のみの参加が認められることになるが、スタートはル・マン式が採用され、ライダー登録は一人または二人までが登録でき、もちろんレース途中でのライダー交替が可能など、鈴鹿8耐に準じる設定となっている。



### “コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐の全貌が明かされる可能性大!! それが“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレース



2006年トップ3のバトル

毎年、この“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレース会場で、鈴鹿8耐参戦チームの一般公開の発表会が開かれるのも大きな特徴だ。鈴鹿8耐の最終エントリー内容変更締め切りは、通常のレースと同様に開催の1ヶ月前までとなっている。だが、いち早くチーム体制をフィックスし、さまざまな戦略をシミュレーションすることこそが、鈴鹿8耐のビッグタイトル獲得への第一歩とも言われている。それだけに、この発表会からは目が離せないのだが、“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレースのチーム体制からも、その大勢は見てくる。

鈴鹿8耐は、全日本ロードレース第2戦の鈴鹿2 & 4レースから始まるとも言われている。そして、これを第1ラウンドと呼ぶならば、第2ラウンドの“Road to 8hours” 鈴鹿

300km耐久ロードレースは、前哨戦としてチームの士気を高めるレースであると言える。さらに、第3ラウンドの公開テストでは、ライダー同士のマッチング、ライダーとマシンのマッチング、そしてチームの総合力の最終チェックの場となる。

“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレースを制し、いち早く“真夏”のトピラを押し開くのはどのチームなのか。今年の“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐 第30回記念大会を占う重要なレースなのである。



2006年の表彰台

## エントリーの傾向と、その見どころ。 TEAM HRCは？ ヤマハは？ そしてスズキとカワサキは？



伊藤真一

さて、この“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースには、7月29日(日)に決勝レースを迎える“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐第30回記念大会に出場するライダーやチームが出場してくるわけだが、そのエントリーの傾向は、全日本ロードレースJSB1000クラスにある。言いかえると、全日本ロードレースのJSB1000に出場しているライダーやチームは、その闘いの延長線上に“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐を見据えているのである。

ではここで、今年の全日本ロードレースJSB1000ライダーを紹介しよう。

現在は、ケガで戦線離脱している連続V2チャンピオン伊藤真一を筆頭に、渡辺篤、モリワキに移籍した山口辰也、WINs SUZUKI R.Tに移籍した秋吉耕佑、柳川明、チームOSG&モトスポーツに移籍の出口修、辻村猛、徳留和樹、中須賀克行、亀谷長純らが継続参戦組。そしてここに、ビッグネームのライダーたちが今年から新規参入してきた。その筆頭が、世界GPやスーパーバイク世界選手権を闘ったノリックこと阿部典史で、さらに05~06年の全日本ST600チャンピオン安田毅史、昨年の

全日本GP250で全戦でポール&ウィンを達成した横江竜司が加わったのだ。また、SRS-J(鈴鹿サーキットレーシングスクール・ジュニア)一期生で全日本ST600の酒井大作、大崎誠之らがJSB1000に転向。チームとしては、5年ぶりに全日本ロードレースに復帰したTEAM HRCの動向が注目を集めている。ライダーは、手島雄介だ。

さて、鈴鹿8耐で伊藤は、連続ポールポジション回数を「4」に伸ばしている。さらに昨年は、辻村とのペアで優勝、歴代3位となる通算3勝目を記録した。F.C.C. TSRの藤井正和監督は、今年も伊藤と辻村のペアで連続V2に挑むと公言しており、優勝候補筆頭チームである。

昨年の“コカ・コーラ”鈴鹿8耐で総合2位となったteam HARC-PRO.は、小西良輝と安田のペアが順当だが、この2年間、オートレースやイストリーとコラボレートしている同チームだけに、スポンサー次第ではビッグサプライズがあるかもしれない。また、昨年の総合3位のヨシムラは、エース渡辺と、チームに新加入した酒井とのペアが濃厚。秋吉は、全日本での新チームメイトとなった川瀬裕昌、山口は森脇尚護、出口は津田拓也とのペアが有力視されている。

阿部、横江の動向は未定だが、ヤマハは昨年、コーリン・エドワーズと芳賀紀行の、96年の鈴鹿8耐優勝ペアを復活させた。決勝レースは、序盤にしてリタイアとなっただけに、今年の再戦を望むファンも多い。

そしてTEAM HRCだが、手島と清成龍一の参戦は間違いないものと思われる。SRS-J出身の清成は、昨年の“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースを制し、BSB(イギリス・スーパーバイク)のチャンピオンに輝いて



秋吉耕佑



柳川明



手島雄介

いる。さらに2005年の“コカ・コーラ”鈴鹿8耐の勝者でもあり、その実績から鈴鹿8耐でのホンダのエースと言っても過言ではない。

どのようなチームそしてライダーが集うのかが注目される“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐第30回記念大会だが、その全貌の一部が、“Roadto8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースで明らかになる!!



“ノリック”こと阿部典史



渡辺篤



山口辰也

### 観戦環境向上宣言!

## Pit-FMラジオ放送「ビギナーおまかせ大放送774」を開局

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声ラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。また今回も、レース初心者にはわかりにくいペナルティやレース展開をより分かりやすく実況する『ビギナーおまかせ大放送774』を放送!

■“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレース観戦ガイド

レース当日配布

レースやイベントの最新情報から、お得な話題まで情報満載! 会場でGetしてね。

携帯FMラジオ(とイヤホン)を持ってきてね!

- 周波数76.0MHz・・・場内実況放送
- 周波数77.4MHz・・・ビギナー観戦者用放送



『ビギナーおまかせ大放送774』を担当するレースアナウンサー 山本克典氏

## 快適さUPの観戦プランが増えました!

### ●V指定席で8耐さながらのル・マン式スタートを楽しもう!●

S2席の上部に位置するV席は、グランドスタンドの中でも一番高い位置にあり(VIPスイート&テラスを除く)最終コーナーから1コーナーまでをほぼ見渡すことが出来る。また、決勝レースのポールポジション位置が目の前!スタートへの緊張感が高まる中、グリッド上に並ぶ上位チームの様子を見ることが出来る絶好のポジションだ。

★V席ご購入者特典 VIPテラスに入場可能!  
※ご購入はV席側からとなります。

前売りV指定席券(税込) 決勝日のみ有効・別途観戦券必要
2,000円

### ●VIPスイートでワンランク上の観戦を●

VIPスイートは上と下の2フロアに分かれており、前面ガラス張り、地上25mの室内観戦ルームです。冷暖房完備の快適環境で、カシオライオン(シケイン)から第2コーナーなど、東コースのほぼ全域を見渡すことができます。

VIPスイート(パーソナル販売) (税込)
21,000円

#### ★VIPスイートご購入特典

- スペシャルランチボックス(決勝日6/10(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券 ●大会公式プログラム
- ピットウォーク(2日間対象) ●パドック入場可(2日間対象)
- V席入場可(VIPスイート専用席有り)
- VIPテラス入場可(V席購入者と共有)
- お土産(メシリアルプログラムカバー、その他)

■お申込みは鈴鹿サーキット電話通信販売(059-378-1100)まで  
■お申込み受付期間:5月10日(木)~6月3日(日)10:00~16:00

### ●パドックパスは特典がいっぱい!●

#### ★パドックパスは特製カード型パドックパス!

パドックパスのカードフェイスは、“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースの公式ポスターをイメージしたデザイン(シリアルナンバー入り)。鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡します。

※子供(3才~小学生)パドックパスは特製カード型パドックパスではありません。あらかじめご了承ください。

※当日、レース場ゲート横券売所にて、引換えにてお渡しいたします。



※写真はイメージです

#### ★ホスピタリティブース、キャンギャルPHOTOセッションに入場可能!

各チームのキャンギャルが大集合!パドックパス購入者だけの特別なPHOTOセッションを用意しました。

パドックパス(税込) 別途観戦券必要	
大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
4,000円	無料

## 間近に迫力を感じたければ「激感エリア」がおすすめだ!!



激感エリア(第1コーナー手前イン側)  
(写真はSUPER GTの様子)

より近くでレースを体感したいと望むファンに向けて、パドック内に「激感エリア」が設定される。第1コーナー手前イン側と第2コーナーイン側の2ヶ所。写真を撮るにもベストポジションだ。しかしそれよりも、空気が震えるのが伝わるほどの至近距離での観戦は、一度体験したら、その迫力に魅せられることは間違いない!!

※激感エリアへのご入場にはパドックパスが必要です。

※第1コーナー手前イン側は各レース決勝スタートから3周まで、安全確保のためご入場いただけません。



激感エリア(第2コーナーイン側)

## “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐参戦発表会を一般公開で開催 (入場制限あり) 特製パドックパスで生の声を聞きに行こう!



昨年の8耐参戦発表会の様子

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の前哨戦としての性格が大きいこの“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースで、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の参戦発表会が10日(日)ピット上のホスピタリティブース(予定)で行われる。この参戦発表会はパドックパスさえ持っていれば誰でも見ることができる。普段見ることのできないライダーの素顔が見られると共に、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に向けたチームやライダーの意気込みが、いち早く「生の声」で聞けるわけだ。

※お客様が多数の場合には入場を制限させていただく場合がございます。予めご了承ください。

## チケット好評発売中!

前売り観戦券 (税込) 土・日の2日間有効		
大人	ペア(大人2名)	中高生
3,000円	5,500円	1,600円

※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。

前売り指定席券 (税込) 決勝日のみ有効/別途観戦券必要	
V席	2,000円

※指定席券は決勝日のみ有効です。  
 ※V指定席券をお持ちの方は、VIPテラスへの入場ができます。  
 ※V席をご利用の場合、3歳以上共通料金となります。  
 ※VIPテラスのご利用は、V席指定席側から入退場をお願いします。  
 (VIPスイートにあるエレベーターはご利用いただけません。)

パドックパス (税込) 土・日の2日間有効 / 別途観戦券必要	
大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
4,000円	無料

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。  
 ※パドックパスをご購入いただいたお客様は、ホスピタリティーブース、  
 激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。

VIPスイート(パーソナル販売) (税込)
21,000円

※観戦席は全席指定席となります。  
 ※3歳以上有料(飲料・食事・特典は大人同様となります。)  
 ※駐車券は、4名様までのお申し込みにつき、1台分となります。  
 ※パドックアクセスは、パドックパス同様の特典でお楽しみいただけます。  
 ※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。  
 ※お申込み後のキャンセルは一切できません。  
 ※指定席(1列目、2列目、3列目、4列目)のご希望がございましたらお聞かせください。尚、必ずしもご希望通りにならない場合もございます。あらかじめご了承ください。

当日観戦券 (税込)		
	大人	中高生
土曜日	ゆうえんち入園料	
日曜日	3,500円	ゆうえんち入園料

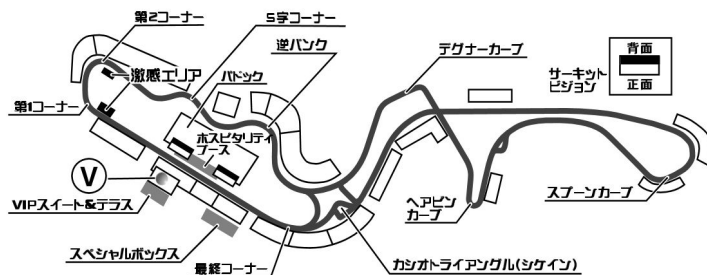
※3歳~高校生の方の当日券はゆうえんち入園料となります。  
 中高生/1,600円 小学生/800円 3歳~未就学児/600円

当日指定席券 (税込) 決勝日のみ有効/別途観戦券必要	
V席	2,500円

※指定席券は決勝日のみ有効です。  
 ※V指定席券をお持ちの方は、VIPテラスへの入場ができます。  
 ※VIPテラスのご利用は、V席指定席側から入退場をお願いします。  
 (VIPスイートにあるエレベーターはご利用いただけません。)  
 ※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は、販売いたしません。  
 お早めにお求めください。

ピットウォーク券 (税込)	
大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
1,200円	無料

※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。  
 ※ピットウォーク時の、脚立のお持達はご遠慮ください。  
 ※小学生以下は無料です。



**P Free!**

●バイク専用無料駐車場開設!

バイクでお越しのお客様は、無料で専用駐車場がご利用いただけます。  
 ※ヘルメット預かりサービスの実施を予定しています。

■ご案内:

- ※本レースは、大人の方もゆうえんちモトピアパスポートでご観戦いただけます。  
 ゆうえんちの乗りものも、レースも思う存分お楽しみください。
- ※レース観戦券をお持ちのお客様がモトピアパスポートをご希望の場合は、観戦券の提示で割引料金にてご購入いただけます。  
 【観戦券提示のモトピアパスポート割引料金:大人~小学生 2,700円、幼児(3歳~未就学児) 1,400円】

チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

- 鈴鹿サーキットレースチケットセンター 4月10日(火)~6月9日(土)まで(販売時間 10:00~17:00)
- 鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100 5月10日(木)~6月3日(日)まで(販売時間 10:00~16:00)
- インターネット SUZUKA ONLINE [http://www.suzukacircuit.jp/] 5月10日(木)10:00~6月3日(日)まで(24時間受付)

4月10日(火)より発売開始!(一部販売期間が異なる店舗がございます。)

- 電子チケットぴあ ●CN プレイガイド ●イープラス ●ローソンチケット ●am/pm ●サークルK ●ファミリーマート ●サンクス ●セブンイレブン
- 全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重>
- ※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)